

第44回 地域包括ケア事業研究会

地域完結型サービス実現を目指す 医療・介護連携のあり方の実践と展望

2025年には高齢者の5人に1人が認知症となることが予測されています。加えて、傍に家族のいない高齢者のみの世帯が増え続けており、介護・医療・生活支援などのサービスが連携して身近な拠点から届く文字通り包括的なケアシステムの整備が必要となります。2023年3月には「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」が改正され、「医療・介護を提供する主体の連携により、必要なときに『治し、支える』医療や個別ニーズに寄り添った柔軟かつ多様な介護が地域で完結して受けられること」を実現することの重要性が謳われました。

今回の研究会は、地域完結型の医療・介護の連携したサービス提供のあり方など、住み慣れた地域で安心に暮らし続けるためのさまざまな仕組みづくりについて学ぶ機会とさせていただきます。講師としてお迎えする川越正平先生は1999年、松戸市でグループ診療の形で「あおぞら診療所」を開設され、以降、門前薬局も、訪問看護ステーションも、居宅介護支援事業所も、病床も持たない形を貫き、市内のすべての薬局・ケアマネ・訪問看護ステーションとの連携で患者さんを支えてこられました。2011年から在宅医療連携拠点事業を受託し、地域内での連携を推進する役割を担うようになり、この事業を医師会活動の中で発展させる形で、2018年度「松戸市在宅医療・介護連携支援センター」を創設され、2022年4月からは松戸市医師会長をお務めになっておられます。本研究会では、コロナ以前から続けてこられた「サポート医による医師アウトリーチ」、子どもたちへの出前講座「まちっこプロジェクト」、医療介護現場が力を合わせて継続して取り組む意思決定支援など幅広い連携によるかかりつけ医や地区医師会による地域におけるさまざまな取り組みについても学ばせていただきます

地域包括ケア事業研究会
代表 山田 尋志

日時
場所

2023年

11月18日 土 16:00-17:45

講演

「地域におけるかかりつけ医の役割
～さまざまな地域課題に向き合う」
あおぞら診療所所長 松戸市医師会会長 川越 正平 様

会場

QUESTION (クエスチョン)
4階 Community Steps

河原町御池 東南角・アクセスは裏面

定員

会場 50名 オンライン 70名

京都地域包括ケア事業研究会会員、
行政、介護、医療、福祉に係る
方々

下記Googleフォームよりお申込みください
<https://onl.sc/KzyM3ky>
または、右のQRコードを
読み取り、お申込みください
〆切 11月10日(金)



開催の前日までに、申込フォームに記載いただいたメールアドレスにZOOMのURL等・資料をお送りいたします

参加費

一般 2,000円
研究会会員・専門委員 1,000円

主催

地域包括ケア事業研究会

お申込み
お問い合わせ

地域密着型総合ケアセンターきたおおじ内 事務局 (村田・垣内)
FAX 075-366-3006 TEL075-366-8025
E-mail kitaooji@iaa.itkeeper.ne.jp

当日プログラム

16:00 開 会

16:05 講 演および質疑応答

(仮)「地域におけるかかりつけ医の役割

～さまざまな地域課題に向き合う」

あおぞら診療所所長 松戸市医師会会長 川越 正平 様

17:45 閉 会

会場までのアクセス



● 最寄り駅からのアクセス

- ・京都市営地下鉄東西線「京都市役所前駅」1番出入口より徒歩約1分
- ・京阪電車「三条駅」12番出口より徒歩約5分

● 京都駅からのアクセス

- ・京都市営地下鉄烏丸線（国際会館方面行き）に乗車後、「烏丸御池駅」で京都市営地下鉄東西線（御陵・六地藏／びわ湖浜大津方面）に乗り換え。「京都市役所前駅」にて下車、徒歩約1分